

平成 29 年度一般社団法人日本家政学会中部支部
第 3 回役員会（新旧役員会）議事録

日 時：平成 30 年 2 月 17 日(土) 16 時 30 分~18 時

場 所：名古屋学芸大学ヒューマンケア学部棟（HA 棟）

出席者：東、和泉、尾島、岸本、中澤、長島、西田、平林、増田、宮坂、室、森山（以上旧）
石川、辻、藤岡、水嶋、三輪、山岸（以上新） *新旧重複者は旧委員として記載

欠席者：大藪、佐藤、中橋、原田、間瀬（以上旧）、磯部、久保、小林、古寺（以上新）

記 録：宮坂

議 事：

- ・議事に先立ち、自己紹介を行った。
- ・東支部長より、役員会組織や役員の役割等について説明がなされた。
- ・岸本次期支部長より、役員幹事予定者が紹介された。
庶務幹事 議事録関係：水嶋丸美幹事、HP・名簿関係：石川豊美幹事、会計幹事：西田淑男幹事(二期目)、
森島三千江幹事（一期目）、企画幹事：辻美智子幹事（若手の会代表兼任）
- ・岸本次期支部長より、役員会出席に伴う交通費支給についての説明があり、遠方の幹事は可能な範囲でご参加いただきたい旨依頼があった。
- ・次期役員会の課題として、ML や名簿の管理があるとの指摘が複数出され、東支部長より、ML の会員登録方法、現委託業者への委託、名簿管理の問題等の検討課題が次期役員会に申し送られた。

I. 報告事項

1. 理事会報告（東）

東支部長より、5 月の総会に向けて議案書の準備が進められていること、家庭生活アドバイザー資格第一号が次回総会で認定されること、一昨年より部会合同夏季セミナーが開催されるようになり、今年も 8 月に領域横断的な合同セミナー（テーマ：子ども食堂）の開催が予定されていることなどの報告がなされた。

2. 平成 29 年度家政学関連院生・学生研究発表会について（和泉）

和泉幹事より、名古屋学芸大学で開始された本日の発表会の参加者は、正会員 27 名、学生 15 名、演題 11 題（インフルエンザにより 1 題取りやめ）であったことの報告がなされた。また、開催時期については、管理栄養士の国家試験との関連で再検討が課題であること、演題は 12~15 題が適切であること等の説明がなされた。

3. 平成 30 年度中部支部大会（於 名古屋文理大学）について（石川）

石川次期大会実行委員長より、名古屋文理大学稲沢キャンパスにて 9 月に開催予定であるとの報告がなされた。日程については決定し次第、報告されることとなった（9 月 1 日、9 月 15 日が候補日）。（役員会後、9 月 1 日に決定した。）

4. 平成 29 年度事業報告（現状報告）について（東）【資料 2 頁】

東支部長より資料に基づいて報告がなされた。

資料訂正：3. 研究活動 口頭発表 11 件→10 件に訂正

5. 平成 29 年度会計報告（現状報告）について（西田）【資料：当日配布】

西田会計幹事より資料に基づいて、平成 29 年度会計の現状の報告がなされた。支出が確定した後、一部修正を加え会計報告を完成させて会計監査に回す。

6. 平成 29 年度若手の会活動報告（現状報告）について（福岡）【資料 3 頁】

福岡若手の会代表より資料に基づいて説明がなされた。

7. 平成 29 年度第 1 期活動助成報告について（東）【資料 4-5 頁】

東支部長より資料に基づいて報告がなされた。

8. 平成 29 年度支部活動活性化サポート申請報告について (東) 【資料 6-7 頁】

東支部長より資料に基づいて報告がなされた。

9. その他

- ・和泉幹事より、今後の大会（総会）および院生・学生研究発表会の開催校について、平成 27 年度第 3 回役員会議事録に記載されていることが紹介された。
- ・増田幹事より、大会（総会）について、三重県のみでの単独開催が困難なため、岐阜県と共同開催などを検討して欲しい旨要望が出された。
- ・東支部長より、大会等の開催校や支部役員選出基準等について、役員会の申し送りをもとに再検討をお願いしたい旨依頼がなされた。

II. 協議事項

1. 中部支部賞（院生・学生研究奨励賞）について (平林) 【資料 8 頁】

平林選考委員長より、奨励賞選考委員会での審査の結果、以下 2 名に授与することが提案され、承認された。授賞式は来年度総会で行う。

NO.2 内藤宙大氏 (名古屋学芸大学大学院) 「ベイクドミルク中のアレルギーの消化・吸収性」(内藤宙大、鈴木美沙、山田千佳子、和泉秀彦)

NO.10 政井弘子氏 (岐阜大学) 「子どもの金融経済教育」(政井弘子、大藪千穂)

2. 平成 30 年度第 1 期活動助成申請について (東) 【資料 9-11 頁】

平成 30 年度大会時の公開講演会開催の助成を申請することが承認された。

3. 平成 30 年度支部活動活性化サポート申請について (東) 【資料 12-14 頁】

若手の会主催の講習会・交流会の補助を申請することが承認され、期日までに書類等を整え次期支部長を通して学会事務局に提出することが確認された。

4. 平成 30 年度事業計画について (東) 【資料 15 頁】

東支部長より資料に基づいて説明がなされ承認された。

平成 30 年度大会・総会 名古屋文理大学稲沢キャンパスにて平成 30 年 9 月に開催予定。(役員会后、開催日は 9 月 1 日に決定した。)

家政学関連院生・学生研究発表会 東海学園大学にて平成 31 年 2 月 16 日に開催予定。

資料訂正：1. 平成 29 年度総会 → 平成 30 年度総会

5. 平成 30 年度予算案について (西田) 【資料、当日配布】

西田会計幹事より資料に基づいて、収支案は原則例年通りであるとの説明がなされた。平成 29 年度より若手の会の活動補助として支部活動活性化サポートを利用することに変更したため、助成金が 10 万円程度減少することとなったことから、この点を勘案して予算案を修正することが承認された。

6. 平成 30 年度若手の会の活動について (辻) 【資料 16 頁】

辻若手の会新代表より資料に基づき説明がなされ承認された。スキルアップ講習会を支部共催とすることが希望として提案された。講習会の開催については、HP、ML、郵便物等で広報する。

8. その他

特になし。

以上